

# いざ 10・10三里塚二期阻止 首切り「三本柱」粉碎

# 大会速報 No.4 総決起

# 日刊 動労千葉

84. 9. 18

No. 1745

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二七二〇七

10・10三里塚総決起  
蘇我機関支区廃止反対など  
4つの特別決議を採択し  
第9回定期大会成功裡に終了  
9月13日

動労千葉は9月12、13日の両日、鴨川市において第9回定期大会を開催し、「国鉄・三里塚を基軸に反動中曽根と対決する労働運動」路線のもと、クビ切り「三本柱」、「分割・民営化」をはじめとする未曾有の国鉄労働運動解体攻撃に総反撃していく方針を満場一致で決定した。

15名の代議員が発言にたつ

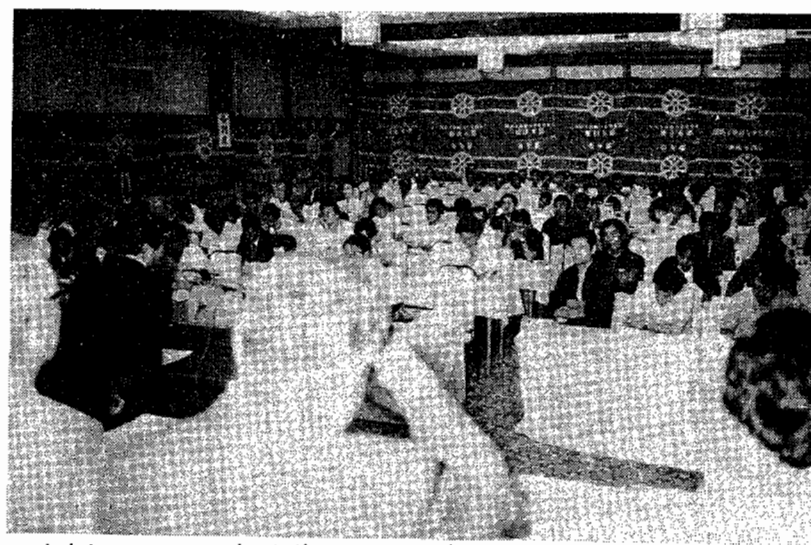
二日目の議事は、冒頭、館山、銚子、佐倉支部家族会からの檄電が紹介された後、直ちに運動方針案の質疑に入った。

代議員の発言の主旨は次のとおりである。

- ◎渡辺代議員（勝浦支部）  
「動労『本部』革マルの裏切りによって内達！ 動乗勤が改悪されたが、60・3で組合主張をしこむ取り組みをしなければならぬ」  
「職制改正反対でどういふ闘いをやるのか」  
「平野君の事故を教訓化したうえで、今後の運転保安闘争の方針は」
- ◎大塚代議員（蘇我支部）  
「蘇我機関支区廃止は絶対許せないが、具体的にどう取り組んでいくのか」



- ◎綾部代議員（津田沼支部）  
「10・10を職場生産点の闘いと結合させ総決起を実現しよう」
- ◎永駕代議員（津田沼支部）  
「10・10を3・25を上まわる動員を貫徹しよう」  
「独身寮費値上げ反対にどう取り組むのか」



全支部から多くの傍聴者がかけつけ、熱心に討論に参加した。

- ◎日暮代議員（成田支部）  
「『過員』問題についてどう取り組むのか」
- ◎堀口代議員（佐倉支部）  
「休職者が出た場合の組合費徴収はどうするのか」  
「外周区への転勤希望者問題の見通しはどうか」  
「検査係の欠員補充について」  
「佐倉機関区の将来展望については」  
「10・10に『3・25』を上回る決起を実現しよう」
- ◎大須賀代議員（成田支部）  
「10・10に3・25を上まわる数で決起するため、総力をあげた取り組みを展開していく」
- ◎松崎代議員（新小岩支部）  
「三基地問題も含め、『メモ』をとったから安心というのではなく、きめ細かい取り組みが必要」  
「三本柱は許せない、全体で怒り闘っていくねばならない」  
（裏面へつづく）

# バトンタッチ

あいさつに立つ、旧・新の特執、廣氏(中央)、磯辺氏(右側)。

7年間特別執行委員として、交渉・総務・議決・共済・OB会等々の軸となって任務を果たしてきた関特執が、今大会をもって出身の\*



※ 新小岩支部へ帰任することとなりました。大変ご苦労さまでした。代って、前・新小岩支部副支部長の磯辺哲夫氏(磯辺正・42才)が特別執行委員に指名されました。交渉を担当しますのでよろしく願います。

◎宮崎代議員(銚子支部)  
「動労全国大会での来栖発言で追及してきたが、裏切り分子・動労『本部』革マルの一掃目指し団結をうち固め闘っていく」

「首切り『三本柱』について、取り組みを説明してほしい」

◎鶴岡代議員(勝浦支部)  
「当局の処分攻撃を粉碎していこう」  
「運転保安闘争は、日常的抵抗闘争の積みあげが原則」

◎高橋代議員(幕張支部)  
「検修合理化は労働強化の攻撃だ」



◎新藤代議員(幕張支部)  
「第二の81・3を闘うべきであり、展望を明らかにされたい」

◎内山代議員(千葉転支部)  
「10・10を3・25を上まわる動員で当局に団結力を見せつけよう」

◎川崎代議員(検修分科会)  
「10・10に検修10割に近い動員の実現なしに、60・3合理化を阻止できないとの気持で取り組む」

◎富川代議員(館山支部)  
「当局の攻撃に対して正しい路線の展開をどうやり、どう打ち破っていくのか」

## 1300の団結うちかため、「三里塚-国鉄」決戦の秋にうって出よう!

中野委員長長の総括答弁を全体で確認

以上の意見、質疑に対し、本部執行部より答弁が行われた。

最後に中野委員長が総括答弁にたち、首切り「三本柱」、60・3という未曾有の攻撃に動労千葉の総力で闘いぬく方向性を鮮明にするとともに、こうした闘いを三里塚と結合し9・16から10・10を、3・25を上まわる総決起を実現すること、これに成功し2〜3年現体制を堅持できれば必ず動労千葉の出番がくること、どんなに苦しくとも日力をたくわえ、仲間を信頼し団結して闘うことの重要性を訴えた。

真剣な討論をおして一九八四年度スローガン、運動方針、予算を満場の圧倒的拍手で確認した。つづいて、西森執行委員から提案された規約規則の一部改正について承認した後、「10・10へ総力で決起する決議」が日暮代議員から、「反合・運転保安確立に関する決議」が鶴岡代議員から、「分割・民営化攻撃の先兵」動労『本部』革マルを追放・一掃する決議」が山下代議員から、「蘇我機関支区廃止に反対する決議」が大塚代議員から提出され、全体の拍手でこれを確認した。

大会は、委員ならびに各種委員の選出について承認した後、片岡執行委員から読みあげられた大会宣言を確認した。  
今大会をもって関特執が退任し、代わって磯部代議員(新小岩支部)が特執に就任し、それぞれあいさつをうけた後、議長団解任のあいさつ、中野委員長長の団結ガンパローをもって、第9回定期大会を成功裡に終了した。  
(大会速報は今号をもって終了します)



中野委員長の音頭で団結ガンパロー! (9月13日)